

本院脳神経外科で脳室穿刺を受けられた患者さんへのお願い

福井赤十字病院 病院長

クモ膜下出血や脳出血、脳腫瘍など多くの原因による水頭症の治療のために脳室ドレナージ、脳室腹腔シャント術など脳室の中に管を挿入する「脳室穿刺」を行います。通常は耳や鼻の位置、頭蓋骨表面の指標（縫合、隆起など）を目安に行う基本的な手技ですが、海外の研究では穿刺の成功率が 50%程度としている報告もあります。現在当院では 2018 年 12 月より超音波（エコー）により脳室の位置をリアルタイムに見ながら穿刺を行い成功率の向上に大きく寄与しており、有用性を証明するための研究を行うこととしました。

保存、および学会や論文に発表するデータは、個人を特定できない形に加工した上で保存しますので、患者さんの個人のプライバシーは完全に保護されます。ご提供いただいた医療データについても厳密に保管されます。本研究で収集された情報は本研究のみに使用されますが、将来実施される研究に利用される可能性があります。この場合には、改めて倫理委員会に申請し承認された後に改めて情報公開文書等でお知らせいたします。

この研究への医療データ等の提供をご辞退される場合、また研究の内容についてより詳細な情報を希望される場合やご質問などがある場合には、下記担当者までお申し出ください。医療データ等の提供をご辞退された場合は、連絡を受けた時点でご提供いただいた医療データを破棄させていただきます。また、ご辞退されたことにより患者さんが治療上の不利益を被ることは一切ありません。ただし、すでに解析を終了している場合には、研究データからあなたの情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください

対象となる方 2015 年 1 月以降に当院にて脳室穿刺を行った患者さん

研究課題名 Burr-hole 型 Probe を用いたリアルタイムエコーガイド下脳室穿刺の有用性の検討

研究責任者 脳神経外科 部長 西村真樹

研究の目的 エコーガイド下の有用性を検討しより安全な治療を行うため

利用する診療情報

診断名 患者さんの生年月日、年齢、性別、既往歴、家族歴、内服歴、検査結果など

研究期間 倫理委員会承認～2022 年 3 月 31 日

研究担当者：

福井赤十字病院脳神経外科 西村真樹 佐野徳隆

住所：〒918-8501 福井県福井市月見 2-4-1

TEL:0776-36-3630

FAX:0776-36-4133

(2021 年 5 月 27 日作成)